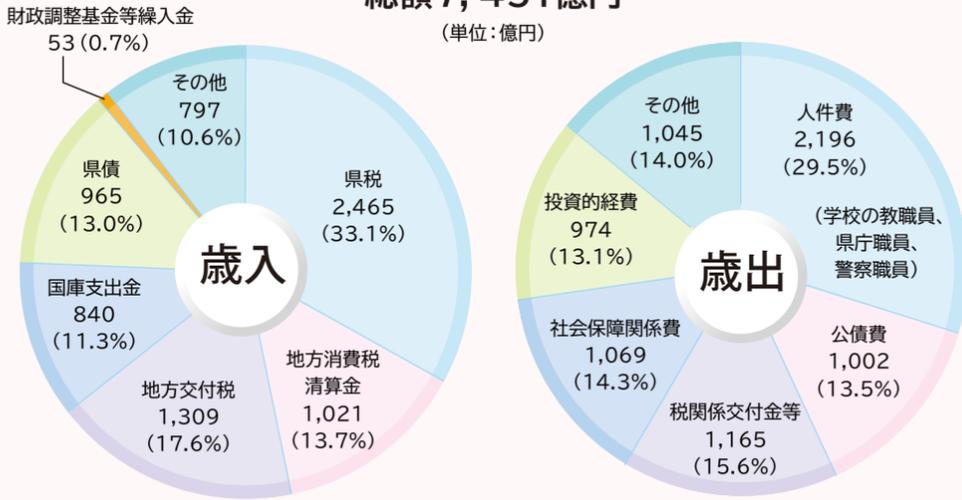


「前例踏襲脱却予算」で新・群馬を創生

総額7,451億円

(単位:億円)



※端数処理の関係で、合計と一致しない場合があります
 ※県予算については、☞からもご覧になれます



歳入

地方消費税清算金……最終消費地に地方消費税の税収を帰属させるため、都道府県の間で清算を行うもの
地方交付税……いったん国が税として集め、その一定割合が地方公共団体に配分されるお金
国庫支出金……使い道を決めて、国から支払われるお金
財政調整基金等繰入金……財源の不足を補うための基金(貯金)の取り崩し

歳出

公債費……これまでに借り入れた県債の返済金と利子
投資的経費……将来にわたり使用される施設などの建設費

重点施策 3

共創とデータ活用による新しいリソースの創出

地域課題解決ラボラトリー 3,665万円

県や市町村の行政課題と、企業が有するICT(情報通信技術)などをマッチングさせる仕組みを構築します。民間の知恵・資金を活用して実証実験を行い、地域課題の早期解決に取り組みます。

G-アナライズ&PR(分析評価) 2,216万円

「健康」をキーワードに県産農畜産物の成分分析を実施します。分析したデータに基づいた魅力を消費者に発信することで、販売促進につなげるとともに、消費者の反応を生産現場に生かすサイクルを作ります。



県特産イチゴ「やよいひめ」の分析

湯けむり創造フォーラムの開催 1,000万円

最先端の知見を有する著名な経済人・有識者を草津町に招き、パネルディスカッションなどを通じて地域課題の解決のための具体的な提案を世界に向けて発信します。

Gメッセを活用したコンベンション産業の振興 1億350万円

「Gメッセ群馬」のオープンを県内外に周知するとともに、施設を核としてコンベンション産業の振興に取り組みます。

動画・放送スタジオを活用した情報発信 515万円

県庁32階の動画・放送スタジオで、県政情報や県の魅力を伝える動画を、職員が費用を抑えつつ、迅速に制作・配信し、インターネットを中心とした情報発信を大幅に強化します。

県庁32階フロア整備 2億648万円(元年度2月補正予算)

県庁32階を、多様な分野の人々が常に集まり、交流を通じて新たなビジネスや街づくり活動のリソースが次々に生まれ、発信される空間として整備します。

オープンイノベーション推進 1,341万円

県・市町村、民間企業などの多様な主体が県庁32階に設置されるイノベーション・ハブで交流し、次世代産業の創出を目指します。

重点施策 4

財政の健全性の確保

事業の見直し

財政の健全性を確保するため、時代の変化や費用対効果、他県との比較、役割分担などの観点から一つ一つ議論を重ね、計242件(13.6億円)の見直しを行いました。

条例・制度の改正など調整が必要な事業は3年度以降の予算編成に向けて、継続的な検討を行います。

歳入・自主財源の確保

今年度から新たに敷島公園水泳場にネーミングライツを導入します(愛称:関水電業敷島プール)。またぐんま天文台、ぐんま昆虫の森などの14施設についても新規導入を検討します。

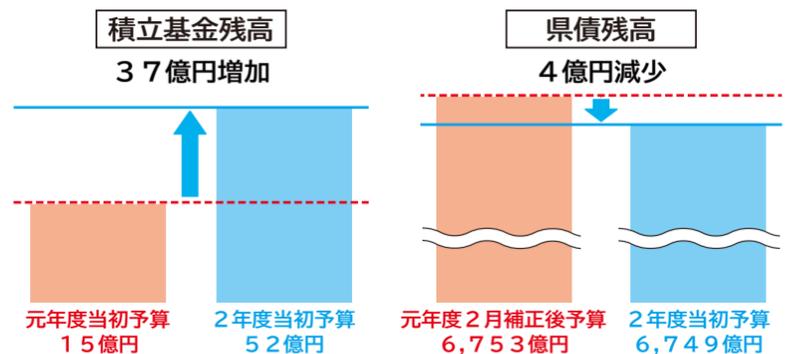
ぐんまちゃんのブランド化や群馬交響楽団の海外公演支援などの資金調達手段として、クラウドファンディング型ふるさと納税や企業版ふるさと納税を実施します。

基金の確保・県債残高の削減

投資的経費の抑制や事業の見直しにより、災害などへの備えとしても重要な財政調整基金の残高を52億円確保しました。

また臨時財政対策債・減収補てん債を除く県債の残高は、前年度より4億円減少しました。

積立基金残高とは……県が自由に使える貯金に当たる積立基金(財政調整基金、減債基金)の年度末残高
 県債残高とは………県の借金である県債の年度末残高



※県債残高は臨時財政対策債・減収補てん債を除いたもの